

2024年3月19日発行

●トピックス&お知らせ

- ・自動車部品の廃材から3Dプリンター用のフィラメントを開発しました
- ・第21回 JAPAN YARN FAIR & THE BISHU ～糸と尾州の総合展～ に出展しました
～知の拠点あいち重点研究プロジェクトの成果を活用したウェアラブルセンサなどを展示～
- ・産業技術センターの職員が「永井科学技術財団賞」を受賞しました
- ・令和6年度「産学協創チャレンジ研究開発(企業ニーズ型、大学シーズ型)」の課題を募集します
- ・「愛知県技術開発交流センター」のご案内

●技術紹介

- ・モノフィラメントの評価事例について
- ・水素炎燃焼炉を用いた陶磁器製品の試作
- ・醤油の火入迄の簡易分析

<編集・発行> あいち産業科学技術総合センター 〒470-0356 豊田市八草町秋合 1267-1
<https://www.aichi-inst.jp/> TEL : 0561-76-8301 E-mail : acist@pref.aichi.lg.jp



◆自動車部品の廃材から 3D プリンター用のフィラメントを開発しました

産業技術センターは株式会社イハラ合成との共同研究により、自動車部品に使用されるガラス繊維強化熱可塑性プラスチック(以下 GF RTP)の廃材を再利用した 3D プリンター用のフィラメントを開発しました。GF RTP は、廃棄される際にそのほとんどが埋め立て処理されており、リサイクルすることが強く望まれています。

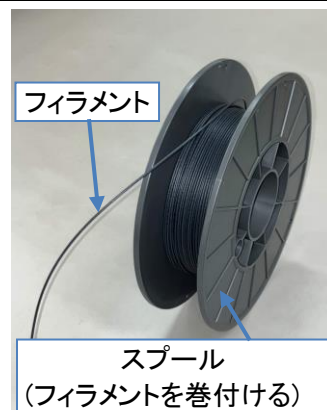
今回開発したフィラメントは、ガラス繊維の破損を極力少なく抑えることで、強さと硬さのバランスに優れ、高い耐熱性を有しています。

また、添加剤の配合と成形条件の改良により、フィラメントにしなやかさが付与され、スプールに巻く際の作業性が向上し、折れにくくなりました。

さらにこのフィラメントは、表面に滑らかさを付与したことにより、3D プリンターで安定した速度で造形可能となり、外観性の良好な造形品を作製できるようになりました。

なお、このフィラメントは 2024 年 3 月より株式会社太田廣から販売を開始する予定です。

産業技術センターでは、本技術に関心のある企業の方からの相談や問い合わせに随時対応しています。お気軽にご連絡ください。



開発したフィラメント



開発したフィラメントを使用した造形品

- 詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20240222.html>
- 問合せ先 産業技術センター 化学材料室 電話 : 0566-45-5643

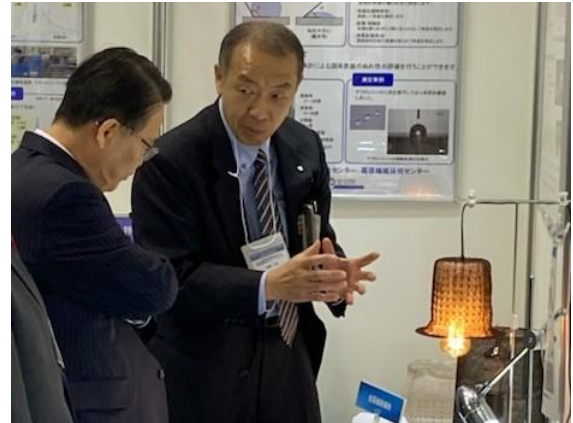
◆第21回 JAPAN YARN FAIR & THE BISHU～糸と尾州の総合展～ に出展しました ～知の拠点あいち重点研究プロジェクトの成果を活用したウェアラブルセンサなどを展示～

2024年2月15日、16日に一宮市総合体育館で開催された、第21回 JAPAN YARN FAIR & THE BISHU ～糸と尾州の総合展～ に尾張繊維技術センターが出展しました。

出展ブースでは研究開発成果品や試作品の紹介・展示のほか、「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅠ期」の成果であるセンサ織物で作られた「ウェアラブルセンサ(着るセンサ)」などを展示しました。

この「ウェアラブルセンサ(着るセンサ)」は、圧力分布が計測可能なセンサ織物で作られたシャツとズボンです。衣服表面に加えられた圧力の変化をセンサ織物が検知し、タブレット端末などのモニタ画面に表示することが可能です。センサ織物は「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅠ期」において、尾張繊維技術センター、株式会社植屋、名古屋大学が参画して開発を行ったものです。この衣服は将来、医療や介護などの分野での活用が期待されています。

あいち産業科学技術総合センターでは、今後も展示会を活用して研究成果の普及に努めてまいります。



大村知事(左)による視察



展示ブースの様子

- 詳しくは <https://www.pref.aichi.jp/press-release/20240208.html>
- 問合せ先 尾張繊維技術センター 素材開発室 電話：0586-45-7871

◆産業技術センターの職員が「永井科学技術財団賞」を受賞しました

産業技術センター金属材料室の永縄勇人主任が、公益財団法人 永井科学技術財団賞(技術賞)を受賞しました。

この賞は、素形材に関わるプラクティカルかつオリジナルな技術開発を実施して成果を挙げた若手技術者を表彰するもので、永縄主任が取り組んできた研究テーマである「無機コロイドを応用した新規耐火物の開発」が認められたものです。

あいち産業科学技術総合センターは、今後も企業の皆様と地域を支える技術パートナーとして、より一層お役に立てるよう努めて参ります。



矢野経済産業局長(左)と永縄主任(右)

- 問合せ先 産業技術センター 金属材料室 電話：0566-45-5644

◆令和6年度「産学協創チャレンジ研究開発(企業ニーズ型、大学シーズ型)」の課題を募集します

本事業は、大学等の研究シーズを用いて県内中小企業の課題解決を目指す研究開発において、企業側および大学研究者側がそれぞれ実施する初期段階の研究開発の取り組みについて研究委託により支援するものです。

【企業ニーズ型】

県内の企業が、大学等の先端的研究シーズを活用した新製品・新技術開発を進めるにあたり、その技術シーズが自社の課題解決や製品化に繋がるか見極めるための第一歩を踏み出すための研究開発を提案して頂き、優れた研究テーマに対して研究委託します。

【大学シーズ型】

大学等の研究シーズを用いて地域の中堅・中小企業の課題解決を図るため、大学等研究者の研究

シーズをより実用化へ近づける研究開発を提案していただき、優れた研究テーマに対して研究委託します。

○研究期間 委託契約日～令和7年2月28日(金)
約8ヶ月

○研究委託費 税込 110万円以内(1件あたり)

○募集期間 4月8日(月)～5月20日(月)17:00

○発表時期 7月初旬

○採択予定件数 企業ニーズ型、大学シーズ型合わせて8件程度

○対象者

【企業ニーズ型】愛知県内の中堅・中小企業

【大学シーズ型】愛知県内の大学等

○応募方法 応募書類に必要事項をご記入の上、下記メールアドレスにメールでご提出ください。

●詳しくは 【企業ニーズ型】 https://www.astf.or.jp/post/challenge_kigyuu_bosyuu

【大学シーズ型】 https://www.astf.or.jp/post/challenge_daigaku_bosyu

●問合せ先 (公財)科学技術交流財団 業務部

電話：0561-76-8325 E-mail：challenge@astf.or.jp

◆「愛知県技術開発交流センター」のご案内

愛知県技術開発交流センター(刈谷市:産業技術センター内)は、中小企業の研究開発、技術交流、情報収集、人材育成などの取り組みを支援するための「場」を提供する開放型施設として、ホール、会議室、研修室などを備えた施設です。皆様の御利用をお待ちしています。

○利用時間 9:00～21:00

○休業日 土曜日、日曜日、国民の祝日等の休日、年末年始(12/29～1/3)

○利用方法 利用希望日の3か月前(交流ホールについては6か月前)の初日から受け付けます。なお、ご利用料金は利用日の7日前までに納入が必要です。詳細は下記URLをご覧ください。



交流ホール



交流会議室

●詳しくは <https://www.aichi-inst.jp/kouryu/>

●問合せ先 愛知県技術開発交流センター管理室(産業技術センター内) 電話：0566-45-5981